

TOPICS

- ・腰部脊椎間狭窄症
- ・ご存知ですか?理学療法士

この広報誌は、田園調布中央病院と患者さまが一体となって、病気やけがと闘うために少しでもお役に立てるよう、スタッフ一同が心をこめて皆さまへお送りする情報誌です。

診療科目

内科 (一般・リウマチ・膠原病・呼吸器・消化器)

外科 (一般・消化器・呼吸器外科・肛門 内視鏡外科)

整形外科 (一般・骨折・各関節痛・ひざ・骨粗鬆症)

眼科 (一般・白内障・網膜剥離・緑内障)

泌尿器科・循環器内科・皮膚科・疼痛外来

形成外科・脳神経外科

予防接種(肺炎球菌・インフルエンザ・MR・麻疹・風疹・

破傷風・おたふく風邪・肝炎)※対象 15 歳以上

ウエルネス外来(要予約)※自由診療

受付時間

【午前】8:00~12:00 【午後】8:00~16:30

診療開始

【午前】9:00~ 【午後】14:00~

◆診療科により受付・診察時間が異なる場合が

ございます。詳細につきましてはお電話、受付までお問い合わせ下さい。

面会時間

11:00~20:00(面会時間は他の患者さまにご迷惑のかからないようお守り下さい。)

医療法人社団七仁会田園調布中央病院

〒145-0071

東京都大田区田園調布 2-43-1

TEL:03(3721)7121

田園調布中央病院ホームページ

<http://denenchofu-hp.jp/>

発行:田園調布中央病院 広報委員会

病院理念

支える医療を実践する

基本方針

- ・救急・急性期医療に全力で取り組む事で、命を支えます。
- ・地域の方々と共に地域医療へ貢献する事で、地域を支えます
- ・疾病の早期発見・予防に努める事で、健康を支えます

患者様の権利

当院では患者様の

1. 良質で公平な医療を受ける権利
2. 医師による説明を受ける権利
3. 医療を選択し自己決定する権利
4. プライバシーを尊重される権利
5. 事故情報の開示を求める権利
6. 個人情報を守る権利

患者様の権利を尊重し安全で良質な医療の提供を行うために患者様のご協力をお願いいたします。



症状

下肢の痛み、知覚障害、腰痛の他に、「間欠跛行」という特徴的な症状があります。これは、立位や歩行で下肢のしびれ、痛みが出現したり、増強しますが、休んで前屈になると症状が改善します。しかし、再び歩くと症状が再発します。

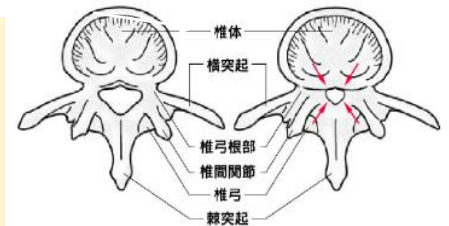
同様な原理で、腰が前屈みになる自転車では、いくら乗っても下肢の症状が出現しない場合が多いです。



症状が進行すると、下肢の筋力低下、おしっこや排便の障害「膀胱直腸障害」が起こることがあります。

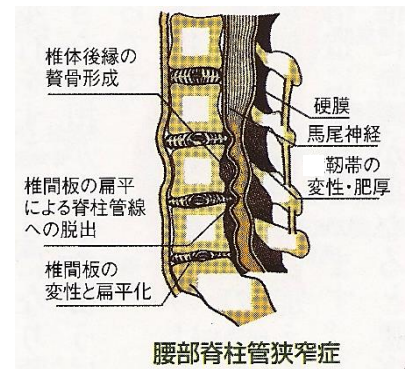
病態

加齢による椎間板、椎体、椎間関節、靭帯の変性により起こります。また、外傷や先天的な骨形成不全によっておこる場合もあります。神経が通る脊柱管が狭くなり、慢性的に神経を圧迫したり、神経の血流を阻害することにより、症状が出現します。



診断

レントゲン検査で、腰椎の変形、ずれ、不安定性の有無を調べます。MRI 検査では、椎間板や神経の状態を詳しく見る事ができるので、脊髄の狭窄の有無を調べることができます。これが、最も重要な検査です。他に CT スキャンや脊髄腔造影もおこないます。



治療

保存療法

1 薬物療法

痛みに対しては、消炎鎮痛剤を投与します。また、血流を改善する薬や、ビタミン B1 2 を投与することにより、間欠跛行やしびれを緩和します。

2 理学療法

ホットパックやマイクロ波で腰部を温めることにより血流循環を改善し、筋肉の緊張や痛みを軽減します。

3 運動療法

日常生活動作の改善や、筋機能を強化することにより、腰椎にかかる負担を軽減します。

4 神経ブロック療法

神経周囲に局所麻酔薬とステロイドを注入して痛みをおさえます。

手術療法

保存療法が無効な場合におこないます。

神経を圧迫している骨や肥厚した靭帯を除去して神経の圧迫を無くします。

安静にしても痛みが起こる場合は重大な疾患がひそんでいる可能性があるため、必ず専門医を受診し適切な治療を受けましょう。



理学療法士は、リハビリテーションの専門職です

リハビリテーションに携わる国家資格には、作業療法士・言語聴覚士、そして理学療法士があります。理学療法士を一言でいうならば動作の専門家です。

今回は、理学療法士についてのお話をさせていただきます。

理学療法の目的は？

直接的な目的は運動の能力・機能の回復です。そして日常生活の改善を図り、最終的には生活の質（QOL）の向上をめざします。

病気、ケガ、高齢などの原因で動作が不自由になると、トイレや着替え・食事などがひとりできなくなるなどの不便が生じます。誰もこれらの動作をひとの手を借りずに行いたいと思うことは自然なことです。そのため日常生活動作の改善は生活の質を向上させる大切な要素になると考えています。

理学療法の対象は？

理学療法の対象者は主に運動の能力が低下した方々ですが、そうなった原因は問いません。病気、ケガはもとより、高齢や手術により体力が低下した方々なども含まれます。

代表的な疾患を以下に示します。

- ・骨折 ・ 腰痛、頸部痛 ・ 肩関節周囲炎 ・ 変形性関節症・脳卒中 ・ 肺炎 ・ 慢性呼吸器疾患
- ・全身麻酔後の肺機能低下 ・ 心筋梗塞 ・ 心不全 ・ 糖尿病 ・ 腎不全 ・ 小児 など

また、最近では運動機能低下が予想される高齢者の予防対策、メタボリックシンドロームの予防、スポーツ分野でのパフォーマンス向上など障害を持つ人に限らず、健康な人々に広がりつつあります。ハンマー投げの室伏広治選手は、2011年の世界陸上で金メダルを取りましたが、その時のインタビューでは『今回の金メダルは理学療法士など多くの人の支えのおかげで金メダルを取れた』と語っていました。



どんな事をするの？

関節可動域の拡大・筋力強化・麻痺の回復・痛みの軽減など運動機能に直接働きかける治療法から、動作練習・歩行練習などの能力向上を目指す治療法まで、動作改善に必要な技術を用いて日常生活の自立を目指します。

ひとりひとりについて医学的・社会的な視点から身体能力や生活環境等を十分に評価し、それぞれの目標に向けて適切なプログラムを作成します。

リハビリと聞くと、体を鍛えるだけ・痛い・辛いというイメージを持たれる方も多いかもしれませんが。当院のリハビリ科では、安楽な姿勢でいられること・楽に動くことができる身体づくりを大切にしています。本来、身体が持っている能力を最大限に引き出すために、まずはしっかりと身体をリラックスしていただくことを心掛けています。

理学療法を受けるには？

理学療法は医療行為に位置付けられているため、医師の指示に基づいて行われます。まずは主治医・担当医にご相談ください。医師が必要性を判断します。

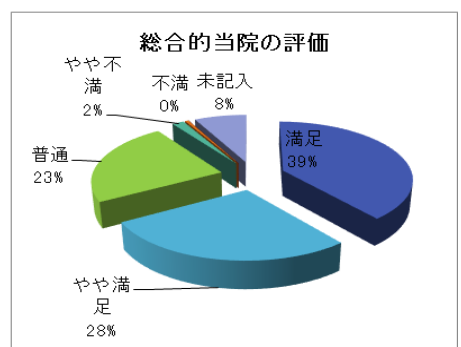
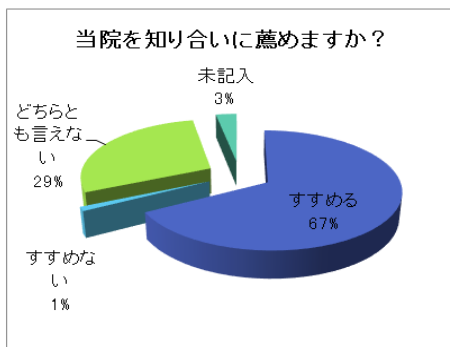
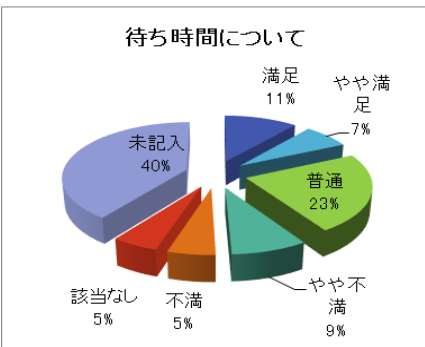
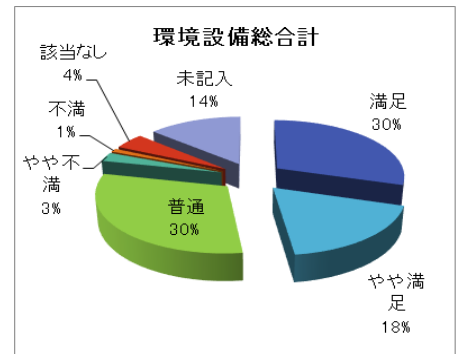
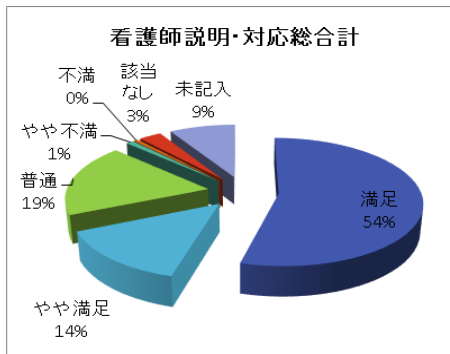
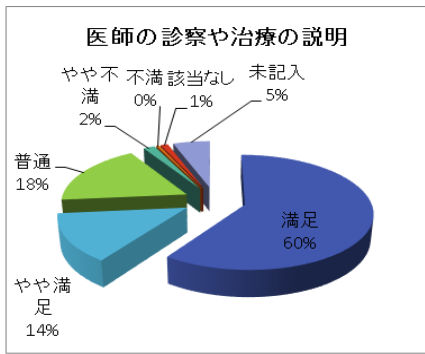
当院は、5名の理学療法士が在籍しており、通院中の方・入院中の方ともにリハビリを行うことができます。何か不明な点などがございましたら、お気軽に2階リハビリテーション室へお越しください!





例年実施している患者満足度調査を、本年も7月14日～18日の5日間行いました。
アンケート用紙825枚配布し、821名の患者様から有効回答が得られました。
貴重なご意見ありがとうございました。
今回得られた結果を一部抜粋して紹介させていただきます

職員・病院への満足度



患者様からのご意見

- **医師、看護師の対応が良い。感謝の言葉** 66件
- ❖ ありがとうございます。患者様からのこのようなお褒め、感謝の言葉はスタッフにとって励みになります。今後もより皆様に満足して頂けるよう接遇対応に努めていきます。
- **病院の建物、老朽化の指摘、トイレの古さ、臭気に関する指摘** 16件
- ❖ 古く手狭な面でご迷惑をお掛けしております。現状の状況下で快適さを増すために日頃より清掃と整理整頓に努め、安全に診察・治療が受けられるよう心掛けていきます。
- **医師、看護師の対応が悪い。私語が多い、名札を付けていない** 5件
- ❖ ご指摘ありがとうございます。対応については患者様の立場を常に考えて接していきたいと思っております。また、私語は職業人として患者様が不快とにならないよう慎み、名札の装着を徹底してまいります。
- **待ち時間が長い。会計に時間が掛かり過ぎる** 16件
- ❖ 例年のご指摘内容として、処方・処置箋を患者様に直接運んで頂く等様々な取り組みをしておりますが、待ち時間を感じさせないよう待合室の本の充実といった視点からも考えていきたいと思っております。
- **表示案内がわかりづらい** 5件
- ❖ ご不便をおかけして申し訳ありません。表示案内はより見やすいように掲示物を整理すると共に、受付やスタッフによる各課診療室案内などの声かけを積極的に行っていきたいと思っております。